

自転車マナー向上を

玉野署 中高生に呼び掛け



自転車通学の中学生・高校生のマナー向上、交通事故防止を目指す「玉野マナーアップ運動」は、玉野署は21日、サマーフェスティバル開催に合わせて実施。署員、市職員、玉野交通安全協会、組合玉野支部のメンバーら22人が参加した。玉野交通警察協助員、自転車軽自動車商協同組合玉野支部のメンバーら22人が参加した。秋の交通安全県民運動(21~30日)に合わせて実施。署員、市職員、玉野交通警察協助員、玉野交通安全協会、組合玉野支部のメンバーら22人が参加した。

イクルマナーアップ運動を、宇野の検察庁北交差点付近にある自転車歩行者専用道で行った。玉野マナーアップ運動を、宇野の検察庁北交差点付近にある自転車歩行者専用道で行った。

自転車で下校する生徒に「気を付けて乗つてよ」と声を掛け、ち

と促す内容。

協同組合メンバーは生徒らの

自転車を点検した。ベ

ル、ライトブレーキ、

タイヤなどの状態を調

べ、「タイヤに空気を

入れて」「チーンが

緩くなっている」など

と助言した。

玉野高校3年西谷ひかるさん(17)は「中学

1年からずっと使って

いる。乗るときはマナ

ーを守り、タイヤの空

氣なども日頃からチェックしようと思った」と話していた。

側に寄って通行!」などと促す内容。

協同組合メンバーは生徒らの自転車を点検した。ベ

ル、ライトブレーキ、

タイヤなどの状態を調べ、「タイヤに空気を

入れて」「チーンが緩くなっている」などと助言した。

玉野高校3年西谷ひかるさん(17)は「中学1年からずっと使って

いる。乗るときはマナ

ーを守り、タイヤの空氣なども日頃からチェックしようと思った」と話していた。

(岡本遙加)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

下校する生徒の自転車の点検などを行ったサ

イクルマナーアップ運動